

北海道の爬虫類

特集

北海道の爬虫類について

みなさんは野山で、ヘビやトカゲに出会ったことはありますか？ 普段、あまり見る機会がないかもしれませんが、この厳しい北海道の環境の中でも必死に生きている爬虫類たちがいるのです!!! 北海道にはトカゲ3種、ヘビ4種(注)が生息していて、爬虫類館ではその北海道の爬虫類を全種飼育しております。そして身近な爬虫類を紹介するとともに飼育と繁殖技術の確立を目指しており、来園者のみなさんがこの身近な爬虫類を通して、少しでも自然や動物に感心を持っていただくのが私たち職員の願いです。

注 もう1種いるとも言われていますが、発見例が2件しかないのので、ここでは省きます。



アオダイショウ(体長1m50cm)
北海道のヘビの中では一番大きく成長します。性格はやさしく温厚で、すぐに人にも慣れてくれます。今年9匹の赤ちゃんが誕生しました。



アカジムグリ(体長1m)
本州などに生息しているジムグリの無斑型(模様のないタイプ)で北海道と本州の高山帯にのみ住んでいる、珍しくまたとてもきれいなヘビです。体長は1mくらいで、性格はおとなしく噛み付いてくることはありません。



シマヘビ(体長1m)
背中に4本の縞があるのが特長です。ただし、縞のない個体も頻繁に見られます。動きは非常にすばやく、攻撃的です。

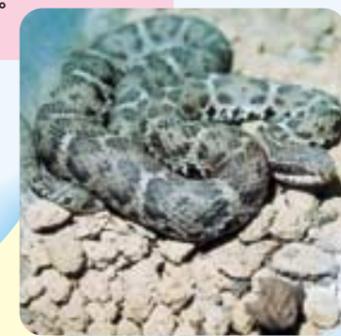


カラスヘビ(体長1m)
シマヘビの黒化型で、外見は違いますが中身はシマヘビです。本州などではなかなか見る機会も少ないようですが、北海道にはたくさん生息していて、よく毒蛇と間違われます。

マムシ(体長70cm)
北海道に生息する毒蛇はマムシだけです。三角の頭と太い胴体が特長です。沖縄のハブより強い毒を持っていますが、体が小さく毒の注入量が少ないため噛まれても生死にかかわることはありません。



ニホントカゲ(体長20cm)
滑らかでツヤのある皮膚と派手な体色をもった美しいトカゲです。その姿から「銀トカ」とも呼ばれることがあります。動きはすばやく、性格はやや神経質です。



コモチカナヘビ(体長20cm)
日本では、道北の一部にのみ住んでいる非常に珍しいトカゲです。普通トカゲは卵を産んで子孫を残していきませんが、このトカゲは卵を産まずに、子どもを直接出産します。コモチカナヘビのコモチとは「子持ち」からきています。



ニホンカナヘビ(体長20cm)
もっとも身近なトカゲで、チヨロチヨロ動くので「カナチヨロ」とも呼ばれています。春先や夏の時期には園内でも見かけられます。



2

3



円山ニュース

新しい仲間たち

円山動物園にやってきた動物と、最近生まれた赤ちゃんをご紹介します。



モモイロインコの巣立ち!!

みなさんはじめまして。ほくは、モモイロインコのゆたかといいます。4月1日に卵からかえって40日くらい巣箱の中で大切に育ててもらいました。今ではお父さんお母さんと同じくらい大きさにまで成長しました!! ほくたちは、タスマニア館にいたので会いに来て下さいね!



カワウソのお嫁入り!!

私は6月20日に中国からやって来たユーラシアカワウソのジャスミンです。円山動物園にいるラト君はとてもやさしく、今では、ラト君とおいしい魚を追いかけたり、2人並んで休んだり毎日がとても楽しくなりました。私たちは、子供動物園にいるので会いに来て下さいね。